

身体  
表現



幼児  
教育



令和元年度 課題解決型ワークショップ  
身体表現×幼児教育

# 幼児教育において想定される課題

- ・ 就学前教育の重要性
- ・ コミュニケーション能力の向上
- ・ 個性の埋没

# ワークショップ概要

様々な音や動きに触れながら、身体を使って表現することを楽しみます。言葉を使わずに身体を動かして相手の気持ちを感じる体験をし、表情や仕草などの言葉だけではない色々なコミュニケーションがあることを自然と理解していきます。

また、決まった正解の表現があるわけではなく、一人一人の感性から生まれる多様な表現を大事にしていきます。園児それぞれが持つ個性を身体を使って引き出ししていくことで、先生も園児の新たな一面を発見し、関わり方を見直すきっかけにもなります。

講師 新井 英夫 氏 (体奏家)

対象者 飯山南保育所 (年長クラス)

実施日 2019年12月6日 (金) (1回実施、1時間/回)



# ワークショップ参加者の声

## 【先生の声】

- いつもは1人が何か違う事をしだすと他の園児も巻き込まれることが多いが、**ワークショップの時は集中力が高く、それがなかった。**
- **普段はあまり自分から手を挙げない園児が、率先して発言し、参加していた。**
- 普段は**言葉で指示するようなことを、目線や仕草で伝えることができていて**すごいと思った。

## 【アーティストの声】

- 実施した身体表現は、自分勝手に何でもやってよいというわけではなく、**一緒にやる相手のことを受け止めた上で、自分を出して表現していくもの。つまりこれがコミュニケーションの基本感覚だ**と思う。子どもたちは楽しみながらこのことを徐々に理解し、達成していたので感動した。
- **体の中身の豊かさが、言葉の豊かさの土台。感覚を育てる表現遊びをすることで言葉の表現も次第に豊かになってくるはず。**

# 【ロジックモデル】

